



Monthly Pediatrics News Letter

第81号

令和6年1月

発行：産業医科大学小児科学教室

作成者：保科隆之（小児科通信係）

<はじめに>

産業医科大学小児科医局員、小児科入局を表明している初期研修医・学生の皆さん、日ごろの業務および勉強ご苦労様です。

新年あけましておめでとうございます。日常生活の制限がほぼなくなり、コロナ禍前とほぼ同様のクリスマス、お正月を過ごされた方が多かったのではないのでしょうか。ただ、日常診療に目を移しますと、インフルエンザはなかなか減少せず、「例年通りの」新型コロナウイルス感染症流行が起きつつあるようで、自身が感染しないか不安を感じながらの年末年始だったかもしれません。この状況はしばらく続くでしょうから、しっかり感染対策を行いながら、日々を過ごしていきましょう。この小児科通信を読んでいる皆さんにとって、2024年が実りある1年になることを祈念しています。

毎月配信しております小児科通信をお送りします。今回も大学で行われたイベントや学会参加予定などをお知らせします。小児科入局を表明していただいた学生の皆さんと当教室に興味を持っていただき見学に来られた学生さんと先生にもお送りしております。提供する情報に興味を持っていただけると嬉しいです。

通信を読んだ感想やご意見・ご要望を小児科通信制作責任者 (hoshina@med.uoeh-u.ac.jp) までお寄せください。今後の参考にさせていただきます。

<12月の医局行事>

12月1日 令和5年度産業医科大学小児科大忘年会

アートクレフクラブで開催されました。4年ぶりの開催でしたが、過去の忘年会と同じように大変盛り上がりました。重田先生作成のオープニングビデオ、卒後5年目と6年目の先生方による出し物など、秀逸な余興もあり、楽しいひと時を過ごすことができました。また、卒後の進路で小児科を選んでくれた6年生の5名も参加してくれました。来年度以降も開催したいと思える素敵な会でした。



12月7日 研究・診療のまとめの会

毎年12月に行われる1年間を総括する会です。この1年間に各診療グループが経験した貴重な症例の提示、掲載された論文や現在進行中の研究の進捗状況などを報告してもらいました。各グループから、診療だけでなく研究についても教室が発展しそうな内容が発表されました。論文という形になった研究はまだ多くありませんが、当教室から世界に発信できる研究が増えていきそうです。各グループの益々の活躍を期待しております。

12月9日 第523回日本小児科学会福岡地方会

九州大学医学部百年講堂とWeb配信のハイブリッド開催でした。重田先生が、「診断に時間を要した48,XXYY 要項群の1男児例」という演題を発表しました。今回の地方会では、当院小児外科の江角先生にも一般演題を発表していただきました。また、福岡地方会グラウンドラウンドに選ばれた演題に対して、山本先生が指定発言をされました。さらに、田中先生が一般演題の座長を務めました。次回は、3月2日に九大病院ウエストウィング棟・臨床大講堂とWeb配信のハイブリッドで開催されます。

12月11日 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

担当は、感染症・免疫グループでした。川村先生、山口先生、保科が「秋から初冬はネコひっかき病にご用心！ー多彩な疾患を発症するバルトネラ感染症ー」という発表を行いました。

12月12日 6年生入局祝いの会

今年度卒業見込みの医学部6年生の中で小児科に入局してくれた6名をお祝いする会を開催しました。私の試験問題が難しかったなど、若干の抗議はありましたが、それ以外はとても楽しくお話しすることができました。まずは国家試験を突破し、その後、小児科医として一緒に働けることを楽しみにしています。

12月27日 小児科専門医合格発表

9月に実施された専門医試験の合格通知が届き、受験した4名全員から合格したとの報告を受けました!! おめでとうございます。

前年度に続いて受験者全員が合格したことはとても嬉しいことです。受験した皆さんはもちろんのこと、受験生を指導してくれた先生方もご苦労様でした。合格した皆さんが「小児科専門医」としてさらに活躍することを期待しています。

<1月の医局行事予定>

1月15日 19時～ 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

演題名 乳児血管腫 Update

演者 白山 理恵、伊藤 琢磨、緒方 愛美

場所 産業医科大学大学 2 号館 2 階 2208 教室

1 月のクリニカルカンファレンスは、血液グループの担当です。

1 月 25 日 18 時～ 産業医科大学小児科セミナー

講演名 エコチルデータを利用して研究・論文作成してみませんか？

講演者 辻 真弓 先生 (産業医科大学衛生学)、桑村 真美 先生 (産業医科大学衛生学)、菅 礼子 先生 (エコチル調査 産業医科大学サブユニットセンター)

場所 産業医科大学大学 2 号館 2208 教室

1 月のセミナーは産業医科大学衛生学の辻 真弓 教授、エコチル調査 産業医科大学サブユニットセンターの菅 礼子 先生と当教室員の江口先生に、国家プロジェクトであるエコチル調査をテーマにお話ししていただきます。小児科医にとって、とても興味深いお話をしていただければと思いますので、時間のある方は是非ご参加ください。

1 月 27 日 18 時～ 2023 年度産業医科大学小児科学教室同門会

さまざまな会と同様、コロナ禍で開催できなかった教室の同門会を 4 年ぶりに開催します。会場はリーガロイヤルホテル小倉です。この小児科通信を読んでいる若手の先生の多くが参加したことがない会だと思いますが、教室の同門の先生が多く出席されます。普段、患者さんをご紹介いただいているお礼をお伝えしたり、長くお会いできておらず、その場で親睦を深めたりすることができる貴重な機会だと思いますので、できる限り出席をお願いします。

15 日および 25 日開催のカンファレンスは、会場と Zoom を使った Web 配信のハイブリッド開催です。遠方からも聴講できますので、興味のある方は医局まで連絡してください。視聴方法をお知らせします。

<1・2 月開催予定の学会・研究会>

1 月および 2 月上旬に医局員が参加する予定の学会・研究会をお知らせします。

1 月 6-7 日 第 29 回九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会

第 53 回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会 (福岡・九州大学 + Web)

参加者：本田、中島、守田、浅井 (発表予定)、水城、宮本 (発表予定)

上記に興味があり、参加を希望される方および詳細を聞きたい方は、小児科医局に電話 (093-691-7254) をいただくか、メール (hoshina@med.uoeh-u.ac.jp) をお送りください

い。学会参加費を補助することも検討しています。

<論文掲載情報>

当科医局員が筆頭著者もしくは共著者として名前の入っている論文の掲載情報です(11・12月掲載分)。小児科専門医取得のためには、自身が筆頭著者である論文が必要になります。当教室では、修練医にも積極的に論文作成に携わってもらい、専門医試験の受験資格をクリアできるよう指導しています。また、できるだけ英文雑誌への投稿を勧めています(PubMedに自分の名前が出てくると嬉しいですよ)。このことは、市中の総合病院ではなかなかできない利点だと思います。論文を作成することで、より理論的な考え方ができるようになります。診療の視点を広げるためにも、論文作成に積極的に取り組みましょう。

1. Kawamura M, Shimono M, Suga R, Yoshino K, Fujino Y, Tsuji M, Sanefuji M, Ohga S, Hoshina T, Kusuhara K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Occupational exposure of pregnant women to refined oil and infant wheezing: Japan environment and children's study findings. *Clin Exp Allergy* 2023; 53: 1302-1306.
2. Yamasaki K, Morimoto T, Hashimoto K, Yamaguchi S, Kawamura M, Nemoto K, Kawaguchi T, Tachiwada T, Yatera K. Plastic bronchitis caused by *Haemophilus influenzae*. *Respirol Case Rep* 2023; 11: e01248.
3. 保科隆之. エキスパートが教える小児の薬物治療. 風疹. 小児内科 Vol. 55 増刊号 東京医学社. P284-287, 2023.
4. 保科隆之. SFTS ウイルス. 日常診療に役立つ小児感染症マニュアル 2023. 東京医学社. P471-477, 2023.
5. 保科隆之. 日本小児科学会将来の小児科医を考える委員会報告 はじめの一本 11 論文作成は退院サマリーを作成する感覚で! 日児誌 2023; 65: 1571-1572.

<おわりに>

小児科通信第81号はいかがでしたか。掲載した情報が皆さんの役に立てば嬉しいです。

12月は6年生の皆さんと2度お会いする機会があり、いろいろなお話ができました。とても好印象の方ばかりで、小児科を選んでくれたことをとても喜んでいきます。いよいよ2月に国家試験が行われます。平常心で臨めば必ず良い結果が届くと思いますので、「神頼

み」と「運が離れないように日ごろの行いを良くすること」を忘れずに、本番を迎えてください。

最終的にはこの通信を読んでいる学生と初期研修医の皆さんが大学の医局に所属し、一緒に働けることが上級医の望みです。また、すでに小児科医として働いている皆さんが、日常診療や学会参加を通じてより一層レベルアップされることを願っています。

行事予定には記載しませんでした。2月2日（金）に医学部5年生を対象とした医局説明会を開催します。この通信を読んでいる5年生の皆さんはぜひ参加してください。また、周りに小児科に興味を持っている方がいればぜひ誘ってください。教室員の皆さんもできるだけ多く参加して小児科の良さをアピールしましょう!!

文責：保科 隆之（小児科通信制作係）